



平成 19 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 C F O 鈴 木 勘 一 郎  
(コード番号：2160 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 代 表 取 締 役 社 長 兼 C F O 鈴 木 勘 一 郎  
(TEL. 03-3580-0751)

### 代表取締役の辞任、代表取締役の異動及び役職の変更に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 12 月 21 日付で、代表取締役会長兼社長 佐保井久理須が、一身上の都合により、代表取締役会長兼社長及び取締役を辞任したことをお知らせいたします。なお、佐保井久理須は同日付で当社顧問に就任いたしました。また、佐保井久理須の辞任に伴い、同日開催の取締役会において、下記の通り代表取締役の異動及び役職の変更を決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 代表取締役の異動及び役職の変更

(氏名)	(新役職)	(旧役職)
鈴木 勘一郎	代表取締役社長兼 CFO	取締役専務 CFO

##### 2. 異動日

平成 19 年 12 月 21 日

以 上

## 株式会社ジーエヌアイが経営陣の交代を発表

**2007年12月21日東京** – 日本及び中国における主導的なバイオ創薬会社である株式会社ジーエヌアイは、佐保井久理須博士が、**2007年12月21日**、代表取締役会長兼社長及び取締役を辞任し、取締役会の顧問となったことを発表いたしました。後任の代表取締役社長には、ジーエヌアイの**CFO**である鈴木勘一郎氏が就任しました。

佐保井博士は次のように述べています。「Deloitte からアジアで最も成長した企業の一つに選ばれたことや今年の株式上場で締めくくった過去6年間の当社の実績を大変誇りに思います。今後もジーエヌアイが日本と中国において大手バイオ創薬会社になるべく前進することを支援していきたいと思えます。」

鈴木氏は次のように述べています。「私どもは佐保井博士のリーダーシップに大変感謝しています。株式上場は当社にとって重要な節目であり、この業績に対して佐保井博士は重要な役割を果たしました。当社は、日常業務を管理するための経営会議を設置致しました。新しい経営チームは、当社の日本と中国における業務を統合するため一丸となって効率的に働いています。このことは、臨床試験、研究開発及び事業開発における着実な前進によって裏づけられています。」

また、ジーエヌアイは、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の代表取締役兼バイスプレジデントであった小林建俊氏を顧問として迎え入れたことを発表いたしました。

ジーエヌアイの**CEO**である **Ying Luo** 博士は次のように述べています。「小林氏は、国際的な製薬市場についての膨大な知識と経営経験で当社に貢献します。小林氏の参加により当社の経営能力は強化されることでしょう。小林氏は当社の将来の成長にとって貴重な存在になると確信しております。」

### ジーエヌアイについて

2001年設立の臨床段階の開発を行う創薬企業で、活動拠点を日本と中国に有する。ジーエヌアイは、ヒト遺伝子ネットワークによる解析に成功、遺伝子ネットワーク技術を医薬品開発に応用しており、中国において臨床段階にある創薬候補物を複数パイプラインに持つ。2005年に中国上海ジェノミクスを傘下に収めたことにより、上海における研究および開発の拠点を構築した。両社の統合は、主要な世界的製薬会社との共同研究に結びついている。詳細は <http://www.gene-networks.com/>、<http://www.shanghai-genomics.com> をご覧ください。